

定期報告書

令和 年 月 日

青森県知事 殿

本書で報告する農場の名称 または
農場を管理する者の氏名（名称）

青森農場（青森 太郎）

家畜伝染病予防法第12条の4第1項の規定により、以下のとおり報告します。

1. 基本情報

家畜・家さんの所有者の氏名 または法人名	(株)青い森畜産総合農場 代表 上北 次郎	
家畜・家さんの所有者の住所	郵便番号 030 - 8570	青森県青森市長島一丁目1-1
家畜・家さんの所有者の連絡先	固定電話番号 : 017-XXX-1111	
	FAX番号 : 同上	
	携帯電話番号 : 090-XXXX-XXXX	
	電子メールアドレス : aomori_chikusan@ao☆☆☆417.or.jp	
農場管理者（農場の経営主体） の氏名または 法人名及びその代表者名	青森農場 青森 太郎	
農場管理者の住所	郵便番号 034 - 0093	青森県十和田市××字××19-23
農場管理者の連絡先	固定電話番号 : 0176-XXXX-XXXX	<p>預託農場など、家畜の所有者と農場の管理者（経営主体）が異なる場合は記入します。</p> <p>※家族経営等で、所有者・農場管理者・飼養衛生管理者が同じ場合は、所有者以降の欄を「同上」の記載とすることができます。</p>
	FAX番号 : 0176-XXXX-XXXX	
	携帯電話番号 : 080-XXXX-XXXX	
	電子メールアドレス : aomori_chikusan@ao☆☆☆417.or.jp	
飼養衛生管理者の氏名	同上	
飼養衛生管理者の住所	郵便番号 034 - 0093	<p>飼養衛生管理者とは、法律に基づき、衛生管理区域（農場）ごとに定めなくてはならない飼養衛生管理の責任者のことです。</p> <p>※家畜の所有者（経営者）が飼養衛生管理者を兼ねることも可能です。</p> <p>※飼養衛生管理者が複数いる場合は、別紙1-2にも記載してください。</p>
飼養衛生管理者の連絡先	固定電話番号 : 0176-XXXX-XXXX	
	FAX番号 : 0176-XXXX-XXXX	
	携帯電話番号 : 080-XXXX-XXXX	
飼養衛生管理者が管理する 衛生管理区域（農場）の住所 及び畜舎番号等※ある場合のみ	郵便番号 034 - 0093	青森県十和田市××字××19-23

※ 電子メールアドレスはo(オー)と0(ゼロ)、必要に応じヨミガナをつけてください。

※住所が異なる複数の衛生管理区域（農場）を所有する場合は、所在地ごとに報告書の作成が必要です。

※ 飼養衛生管理者が複数配置されている場合は、本様式に準じた内容を別紙1-2に記載してください。

市町村名	氏名
〇〇市	青森 太郎

記入例

3. 飼養衛生管理基準の遵守状況及び遵守するための措置の実施状況チェック表【牛、水牛、鹿、めん羊及び山羊】

※豚、いのしし、家きん、馬で内容が異なりますが記入方法は同様です

※記載方法

- ・自らの農場に関する飼養衛生管理基準の遵守状況及び遵守するための措置の実施状況について、自己点検を行ってください。
- ・1から38までの各項目の設問に対し、自己点検の結果を元に「はい」「いいえ」「該当しない」に丸を付けてください。
- ・「記入欄」がある設問には、措置の状況を記載又は該当する事項に丸を付けてください。
- ・「いいえ」と回答した項目については

この欄は記入不要です

該当するものに必ず〇を付けてください

家畜防疫員
チェック
ボックス

I 家畜防疫に関する基本事項		
1 家畜の所有者の責務		
●関係法令を遵守している。	はい	いいえ
記入欄 内容を理解している関係法令： ・家畜伝染病予防法 ・飼料の安全性の確保及び品質の改善に関する法律 ・獣医師法 ・家畜排せつ物の管理の適正化及び利用の促進に関する法律 ・水質汚濁防止法 ・悪臭防止法 ・廃棄物の処理及び清掃に関する法律 ・牛海綿状脳症対策特別措置法 ・医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律 ・化製場等に関する法律		
●農場の所在地で飼養されている家畜の所有者その他の畜産関係者と協力して衛生管理の意識を高め、衛生管理を行っている。	はい	いいえ
記入欄 (はいの場合) 協力者：地域の他の家畜の所有者(飼養衛生管理者) 市町村 地域自衛防疫団体 その他 ()		
●(所有者以外に飼養衛生管理者がある場合)飼養衛生管理者と常時連絡可能な体制を確保し、本基準に規定される取組について当該飼養衛生管理者に実施させている。	はい	いいえ
記入欄 (はいの場合) 連絡体制：携帯電話 事務所電話 メール FAX その他 ()		該当しない
記入欄 (今後の改善方針)		
家畜防疫員記入欄 (改善指導の内容、指導年月日)		
この欄は記入不要です		
2 家畜防疫に関する最新情報の把握及び衛生管理の実践		
●家畜保健衛生所等から提供される情報を必ず確認している。	はい	いいえ
記入欄 (はいの場合) 情報の把握方法：メール 広報誌 FAX ウェブサイト その他 ()		
●家畜保健衛生所等が開催する家畜衛生に関する講習会への参加、農林水産省のウェブサイト閲覧等を通じて、家畜防疫に関する情報を積極的に把握している。	はい	いいえ
記入欄 (はいの場合) 情報の把握方法：講習会 ()		
●家畜防疫に関する最新情報を踏まえ、防疫体制の状況を定期的に点検し改善を図っている。	はい	いいえ
記入欄 (はいの場合) 点検の頻度：年1回 半年に1回 月1回 週1回 その他 ()		
●農場の最新の防疫体制を確認できるよう、衛生管理区域及び消毒設備等の衛生対策設備の設置箇所を明示した農場の平面図を作成し、備えている。 (要 資料添付)	はい	いいえ
●家畜保健衛生所が行う検査を受け、指導に従っている。	はい	いいえ

項目内で「いいえ」があった場合記入してください

それぞれの項目について
詳細に〇をつけてください

同様に以降も記入し、提出してください。

記入にあたり不明な点は、十和田家畜保健衛生所までお問合せください

電話：0176-23-6235 FAX：0176-23-3044



市町村名	氏名または農場名
	記入例

4. 添付書類

「牛・豚・いのしし・めん羊・山羊・鹿・鶏・鳥類用」

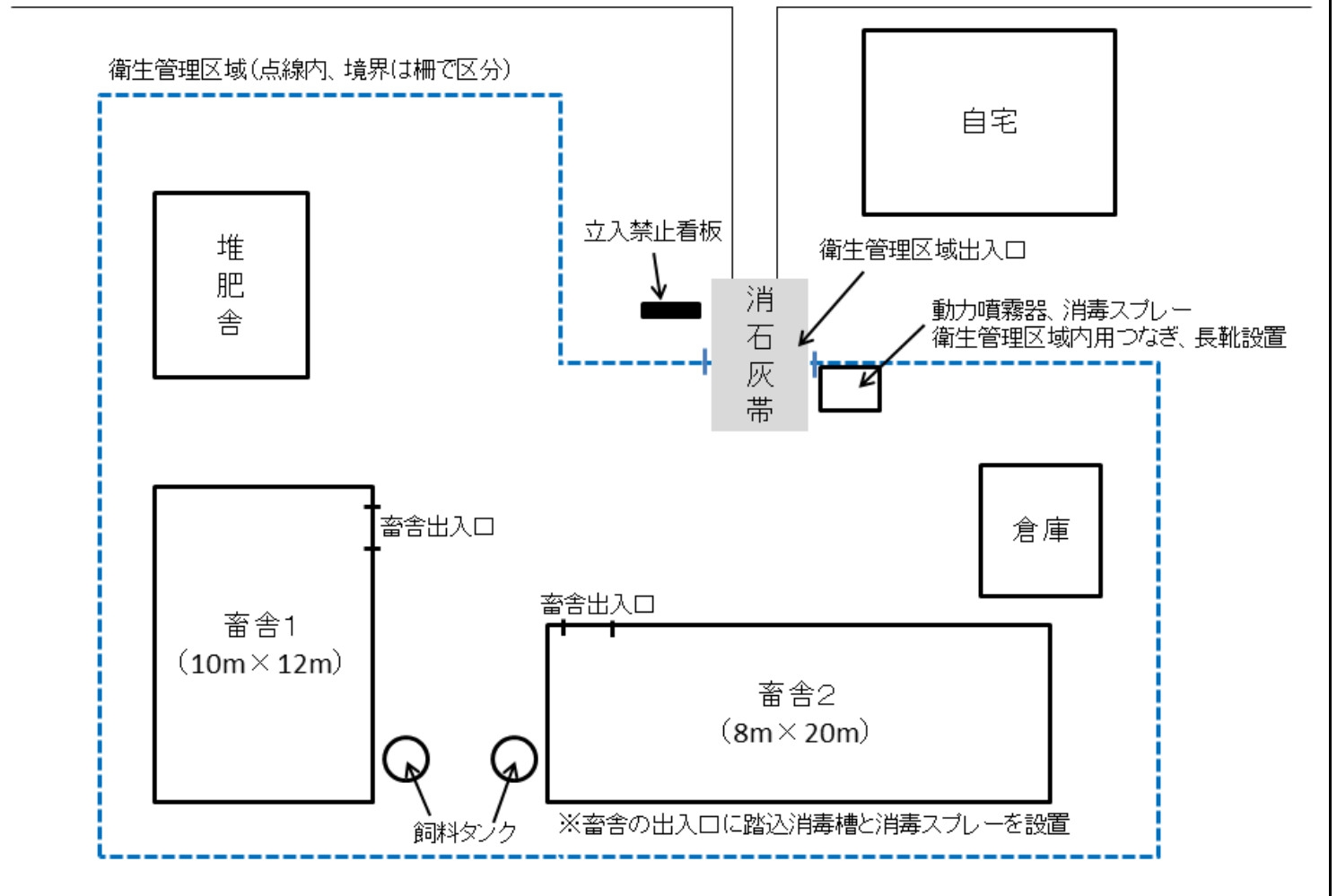
※馬の場合も記入方法は同じです

※ 小規模（牛：1頭、豚、いのしし、めん羊、山羊、鹿：6頭未満、鶏、鳥類：100羽未満、だちょう：10羽未満）の所有者は、**本様式の提出は不要**です。

1 農場平面図

- ① 衛生管理区域の範囲及びその出入口
 ② 消毒設備（動力噴霧器、踏込消毒槽、消石灰帯など）の設置箇所
- これを図の中に明示してください
- ・同一敷地内に家畜の飼養場所と住居が存在する場合は、衛生管理区域と生活区域の区分が分かるよう、住居等を含めて記載してください。
 - ・衛生管理区域の境界及び出入口が明確にわかるよう記載してください。
 - ・衛生管理区域境界の区分方法（ロープ、プランター、白線など）と位置を記載してください。
 - ・衛生管理区域・畜舎の出入り口付近に設置した消毒設備の内容と場所を記載してください。
 - ・人の出入りを制限するために講じた措置（立て看板、ロープ等）の位置等を記載してください。
 - ・畜舎の大きさを記載してください（縦〇〇m×横〇〇m等）

道路



2 関係者以外を衛生管理区域に立ち入らせないようにする方法・衛生管理区域に立ち込んだ者が家畜に接触する機会を最小限とする措置の内容

衛生管理区域の区分方法： 柵 ロープ / プランター / 白線 / 消石灰帯 / その他 ()
 立入制限の表示方法： 立て看板 / 工事用カラーコーンの設置 / その他 ()
 畜舎への立入制限方法： 畜舎出入口の戸締り / 立入者への付き添い / 畜舎出入口への看板 / その他 ()
 その他 ()

3 衛生管理区域出入口付近・畜舎に設置した消毒設備の種類

衛生管理区域出入口： 消毒薬噴霧器 / 車両用消毒槽 / 消毒ゲート / 消毒マット / 消石灰帯 / 踏み込み消毒槽 / その他 ()
 畜舎出入口： 消毒薬噴霧器 / 消毒マット / 踏み込み消毒槽 / 手指消毒スプレー / その他 ()

4 畜舎毎の家畜の飼養密度

畜舎1 120 m² (10m × 12m) ÷ 12 頭 = 10 m²/頭
 畜舎2 160 m² (8m × 20m) ÷ 14 頭 = 11.43 m²/頭

畜舎が複数ある場合は、畜舎ごとに記入してください。

5 家畜伝染病発生時における埋却用地の確保状況

① 埋却予定地の所在地： 有 ・ 無 (どちらかに○)
 住所： 十和田市〇〇字〇〇1-2-3

② 埋却予定地が自己所有でない場合
 所有者の氏名：
 契約内容： 書面契約あり / 承諾は得ているが書面契約なし / 承諾は得ていない

③ 埋却予定地の面積・現在の利用状況・農場からの距離
 利用状況： 山林・原野・空地・採草畑・放牧地・休耕地・畑・その他() ・ 面積：5000 m² ・ 距離：0.5 km

④ 近隣住民や関係者への説明・承諾状況： 説明し承諾を得ている / 説明しているが承諾は得ていない / 説明していない

⑤ 参考事項：

埋却用地がある場合は、その場所を正確に記入してください。農場内の土地であれば「農場内」、地番がない場合は「農場の東側隣接地」などといった書き方でも構いません。
 ※埋却用地が農場から離れた場所で、かつ地番がない場合は必要に応じて位置がわかる地図等を添付してください。

6 家畜伝染病発生時における処分方法を焼却または化製処理で検討： 有 ・ 無 (どちらかに○)

① 施設の名称：
 住所：

② 処理施設の利用について、施設側への説明・承諾状況： 説明し承諾を得ている / 説明しているが承諾は得ていない / 説明していない

③ 近隣住民や関係者への説明・承諾状況： 説明し承諾を得ている / 説明しているが承諾は得ていない / 説明していない

埋却用地の確保ができていない場合は、確保のための現在の取組状況に○をつけてください。

7 埋却地・焼却または化製処理施設の確保ができていない場合、これらを確保するための取組状況

埋却地の購入を検討している / 埋却地としての利用を地権者に相談している / 候補用地を探している / 役場等関係者間で埋却予定地の確保について協議をしている / 焼却施設等を探している / その他 ()

飼養衛生管理マニュアルを作成済みの場合は、コピーを添付してください。

8 農場ごとに作成する飼養衛生管理マニュアル

別添のとおり

以下の項目は大規模所有者（成牛200頭以上、育成牛、豚、いのしし、めん羊、山羊3,000頭以上、鶏・うずら10万羽以上、あひる・きじ・だちょう・ほろほろ鳥・七面鳥1万羽以上）の場合のみ記載してください

1 担当獣医師について

氏名：
 所属：

コピーを添付してください。
 (大規模所有者のみ)

2 特定症状を確認した場合に、直ちに家畜保健衛生所へ通報する手順書等

別添のとおり